



漕代小学校だより

松阪市立漕代小学校 令和6年11月1日(金) N0.18

ホームページ <http://www.koishirosho.com>

E-mail: koishiro2es@matsusaka.ed.jp

校長 橋本 恵美子

急に秋らしくなった今日この頃です。気温の寒暖差が大きく、風邪をひきやすい季節となりましたので、お子様の体調管理をお願いします。

PTA 清掃活動

日頃子どもたちの手の届かないところをきれいに
していただきました。ありがとうございました。



掃除道具も、持ってきていただきました。
文化祭が楽しみです。



体育館の二階の窓も、ピカピカです。



今年も★星空観望会★を開催します。

毎年也大変好評で、親戚のお子さんや卒業生、児童の末就学の兄弟姉妹の参加も多数あります。今年も、体育館で、今夜見える星や月の話を教えていただいた後、運動場に場所を移し、実際に望遠鏡をのぞいて、星や月を見せていただきます。

「来年からあの星の、あれが・・・。」楽しみです。

日時 11月6日(水) 雨天決行(体育館で宇宙のお話)

午後5時30分から午後8時00分

場所 運動場(体育館)



大辻隆弘先生に短歌を教わる5年生と6年生

140周年記念式典で、講演をしていただく大辻先生から、24日は5年生が、25日には6年生が短歌を学びました。つくった短歌は、学窓会の「通信89号」に掲載します。

文化祭は、9:00に開始します。文化祭では子どもたちの地域探究学習の成果を発表します。

ぜひ、地域の方々もお越しください。

大辻先生の講演会は、10:30に開始します。



「風」と「光」の言葉入れ歌詠む 大辻さん(稲木)、母校・漕代小で

大辻さんは今年1月に皇居で開かれた「歌会始の儀」で初めて選者を務め、現在は真立津東高校で再任用教員として教壇に立ち、未来短歌会理事長と同会が発行する「未来」の編集発行人を務めている。

来月10日の140周年講演前に子供向け同校は創立140周年の記念講演会を11月10日に予定しており、その講師を大辻さんに依頼。その関係で子供たちにも短歌に親しんでもらおうと特別授業が実施された。



大辻さん(右)のアドバイスをもらいながら創作に励む子供たち。目田町の漕代小で

大辻さんによると、短歌は飛鳥時代に成立した31音で構成される。俳句とされ「五・七・五・七・」は、短歌の上の句が独立してできたもので、短歌と違い季語を取り入れ、小学校では国語の授業で5年生が俳句、6年生が短歌を学ぶ。

特別授業では、大辻さんが記念講演の題名に掲げる「漕代の風と光」から、5年生8人が「風」、6年生8人が「光」の言葉を入れて歌を詠んだ。25日前午10時40分からの6年生の授業では、まず大辻さんが短歌の歴史やルールを教え、子供たちは早速、歌作りに取り組んだ。指で一言ずつ数えて考え込む子供たちを見て、目に入った言葉を使ってみて、声に出してみてもいいよ」とアド

(夕刊三重にも掲載されました。)

日時 11月10日(日) 10:30~11:30
 ※9時から小学校文化祭を同時開催しています。

場所 漕代小学校 体育館
 ※お座りいただくための椅子を準備しています。

地域の皆さまもぜひお越しください。

宮中歌会始選者!



大辻隆弘さん

松阪市稲木町出身の歌人。未来短歌会理事長で、歌誌「未来」編集発行人・選者。

歌集では、「抱擁韻」により現代歌人集会賞、「デブス」により寺山修司短歌賞、「景徳鎮」により斎藤茂吉短歌文学賞、「樟の窓」により小野市詩歌文学賞を受賞されました。

歌書では、「アララギの脊梁」により島木赤彦文学賞・日本歌人クラブ評論賞、「近代短歌の類型」により佐藤佐太郎短歌賞を受賞されました。



他にも歌集としては「水廊」「汀暮抄」、歌書としては「子規への溯行」「時の基底」など数多く刊行されています。

バイス。子供たちは外を眺めたり教科書を見たり、タブレット端末で画像や言葉を検索して創作に打ち込んだ。

その後、完成した短歌を皆で声に出して読み上げ、その歌から感じる印象や意味を話し合った。

「ああもう朝か」と正直な心が表れている。短歌が楽しくて3首できました。「5首ひらめいたという中西月音さんは「俳句は慣れているけれど、

「かまだ寝ていたい」といった作品も。大辻さんは「ああもう朝か」と正直な心が表れている。短歌が楽しくて3首できました。「5首ひらめいたという中西月音さんは「俳句は慣れているけれど、

田中袖羽さんは「5年生の時俳句が難しかった。でも今日は考えるのが楽しくて3首できました。」とそれぞれ笑顔で話した。

短歌は最後の七・七があつて難しかった。短歌のプロの先生に教えてもらって、すごく楽しかったです」とそれぞれ笑顔で話した。